

# 横浜港南ロータリークラブ



ロータリー:インスピレーションになろう

2018~2019年度 国際ロータリーのテーマ



◎例会日/毎週水曜日 ◎例会場/京急百貨店 10F 大会室「リバージュ」 TEL045(848)1111  
◎事務所/〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-13-13 アウソバ 41-302号 TEL045(846)5111 045(846)5129  
◎会長/宮下 賢 ◎副会長/橋浦 重己 ◎幹事/大井 和子 ◎会報委員長/大橋 三郎

## 第 2132 横浜港南ロータリークラブ週報 2018. 7. 18. [水] 第 2360 回例会報告

◎司会 阿曾輝彦SAA委員長  
◎ロータリーソング 『我らの生業』  
◎ソングリーダー 山田哲也合唱委員

◎出席報告 民谷佳子出席委員

会員数	出席者数	出席率	前回修正率	前月平均率
33(6)名	26(6)名	78.8%	75.8%	85.6%

( )内は出席免除会員数

ニコニコボックス本日合計	21,000円
ニコニコボックス累計	108,000円

◎米山チャリティボックス  
上杉順一米山記念奨学委員  
大井和子会員 坂巻照代会員 佐々部宣宏会員  
民谷佳子会員 橋浦重己会員 宮下賢会員 6名

米山チャリティボックス本日合計	6,000円
米山チャリティボックス累計	20,000円

## ◎会長報告

- ①来週はガバナー公式訪問です。ネクタイ上着着用をお願いします。
- ②地区より、西日本豪雨被災地支援の義援金協力依頼が来ています。一人当たり1000円以上を社会奉仕委員会の予算から送金します。
- ③今日7月18日は光化学スモッグの日です。昭和45年東京都杉並区立正高等学校の体育授業中に生徒が突然体調不良を訴え43人が搬送されました。これを東京都公害研究所が日本初光化学スモッグと認定しました。

## ◎幹事報告

### ①クラブ基盤管理委員会

7月19日 宮下会長と私で出席致します。

- ②ロータリー米山記念奨学会より、米山功労クラブの感謝状が届きました。

## ◎委員会報告

なし

## ◎『イニシエーションスピーチ』 飯島直人会員



こんにちは。4月に入会させて頂いた飯島直人と申します。私は昭和47年7月に横浜市神奈川区菅田町というところで建築の内装屋の長男として生まれました。横浜市神奈川区といっても緑区との境目あたりの田舎町です。今でも家の裏に流れる小川ではホタルが見れたり、仕事帰りにはタヌキを見かけることもあります。そんな環境で生まれ育った私は8歳のある時、父も母もスポーツが大好きだった為に父親に連れられて近所の少年野球チームに入部させられました。そして間もなく、大会があるからと作ってもらったユニホームの背番号は21で、一番最後に入った21番目の選手でした。当時大会でベンチに入れる選手は20名。唯一私だけがグラウンドの外で試合を眺め、その姿を見ていた父親が悔し涙を流していたと後になって母から聞きました。試合の数日後、家に植木屋が来て片っ端から植木を切

り、ホームセンターで買ったネットを張り、屋根にライトをつけて、毎日毎晩父親を相手に練習したのを覚えています。その甲斐あって、高学年ではキャプテンを任されるまでになりました。小学校6年生になった頃、世間では私立中学の受験ブームが起こりつつあり、母は私を私立中学に入りたいと勝手に塾の申し込みをして来ました。当然、野球漬けだった私と父は甲子園に憧れるようになっていて、一方、母は進学させたいと、家の中では野球か受験かどちらを取るか、夫婦喧嘩の絶えない毎日でした。結局、私は野球と受験両方やるという結論でした。毎日学校から帰ると庭で野球の自主練をし、夕方から塾へ行き、夜宿題をやってから、夜またバットを振る。休日は模擬試験や夏期講習などがあるとユニホームを持参し、車の中で着替えておにぎりを食べてまた野球場へ行くという生活が続きました。どうせ受験するなら野球の設備が整った学校へ行きたいと、当時新設校であった神奈川大学の附属中学には各部活の専用グラウンドがあり、一目惚れして受験し運良く合格することが出来ました。中高一環教育でそのまま神奈川大学付属高校の野球部に入りましたが、設備は一流でも選手は野球を一旦捨てて、受験を選んできた生徒ばかりなので、甲子園は夢のまた夢といったチーム力しかありませんでした。

今まさに、高校野球の神奈川県予選真只中です。神奈川県は南北2つに分かれて甲子園を目指していますが、私の時の神奈川県予選は202校ありました。梅雨明け直後くらいに横浜スタジアムで開会式が行われますが、当時、開会式が始まるとスタジアムの周りに救急車が何台もスタンバイしていました。シード校から先に入場行進するのですが、先に入場した学校から202校全部入りきるまで1時間半くらい掛ったように思います。炎天下の中、強豪校の選手といえども早くに入場した選手の中には倒れて救急車で運ばれる選手が何人もいました。従って、そのひと月前に行われる予選の抽選会では相手が何処かということと同じくらい何番目に入場するのかというのも非常に気になる場所でありました。

私の高校3年の夏は2回戦で当時準優勝した学校に当たってしまい、あえなく2回戦で高校野球を引退することになりました。引退の時のエピソードで、甲子園の予選が終わると3年生は部活には出ず、それぞれ進学や就職の準備に入るのですが、当時の野球部の監督は引退した3年生に向かって、『明日からもユニホームを着てグラウンドにきなさい』と言いました。我々も言われたとおりに行ってみると、グラウンドの真ん中では新チームである1・2年生が野球の練習をし、私たち3年生

にはバットではなく、ゴルフクラブを渡され、ネットに向かってゴルフを教えてくださいました。監督曰く、『これから社会人になるなら、野球とゴルフと麻雀が出来るようにならなきゃダメだ』と言ってゴルフを教えてくださいました。夜には学校に内緒で監督の家に呼んでもらい麻雀も教えて下さいました。私は今ゴルフが趣味になっているのはまさにこの時がきっかけです。

大学でも少し野球を続けたいとの思いで、そのまま神奈川大学に進み、体育会で準硬式の野球部に入部しましたが、肩と腰を痛め大学2年の時に完全に野球は引退しました。学生時代父親には私の野球のために自分の趣味や楽しみを犠牲にさせてしまったので、内装の仕事を継いで楽をさせてあげようと父に申し出ましたが、4~5年は社会勉強してからにしろと企業への就職を勧められ、強い金融志望でもないまま、縁があって神奈川銀行に就職することになりました。

神奈川銀行について少しお話させて頂きます。当行は今年で65周年になります。戦後復興期の逼迫した金融情勢を背景に、神奈川県内の中小商工業者の資金面での支援を図る金融機関を待望する機運が高まり、昭和28年新設の相互銀行(神奈川相互銀行)として設立されました。相互銀行とはその前身が無尽会社(一定の口数と金額を決めて定期的に掛け金を払いこませて、抽選や入札を行い金銭やその他の財産を給付する)で、昭和26年に相互銀行法が制定され、無尽を行っていた無尽会社は相互銀行に転換しました。現在では相互銀行は普通銀行に転換され、この流れを踏んでいる銀行を第二地方銀行と呼んでおります。当時、神奈川において地元の銀行は横浜興信銀行(現在の横浜銀行)一行のみであったことから、神奈川県、横浜市、県下の商工会議所、そして横浜銀行から支援を受けて県内唯一の相互銀行として設立されました。このような経緯から初代頭取は横浜商工会議所の会頭が頭取に就任されました。先ほど申し上げた通り、殆どの相互銀行は無尽会社から転換しているのですが、当行についてはお話したような経緯で、何も無いところから新設の銀行を作ったわけですから、当然人員やノウハウがなく、設立にあたって横浜銀行から人的な応援を受けてスタートした銀行であるため、その名残りで今も横浜銀行とは近い関係を保っております。

私は銀行に平成7年に入行しました。最初は鶴見区の末吉にある支店から銀行員生活が始まりました。そして、初めての転勤で異動したのが蒔田支店でした。平成10年に特定非営利活動促進法(NOP法)法律が施行されて、ボランティア活動など市民が社会貢献活動を行う団体が法人格を持つことが出来るようになり、

特に福祉の分野ではいわゆるNPO法人があちこちに作られてきました。蒔田支店で私が担当していた先にも、福祉事業を行う設立間もないNPO法人がありました。この法人が土地を買って介護施設を建てるために融資に取り組んだのは印象的でした。今でこそNPO法人に対する融資は当たり前のように取り組んでいます、当時は前例がなく、そもそも担当であった私はこの法律も福祉事業についても全く知識がなく、当時はスマートフォンなどありませんので、取引先と図書館と横浜市役所の福祉課に何度も通って、融資の稟議書を作った覚えがあります。実は民間の銀行がNPO法人に融資する初めてのケースだったらしく、案件の取り上げから融資金の実行に至るまで、TBSの取材を数週間受け(報道特集)という番組で取り上げられたのは良い思い出です。

次に移動したのが本店営業部でした。本店営業部で融資課長をしていた頃は、某一級建築士による耐震偽造問題やリーマンショックが起きた頃でした。建設・不動産業者が相次いで倒産しており、毎週月曜日の朝、出勤して最初に向かうのは自分のデスクではなく、FAXのある所でした。全く予想もしていない取引先が倒産し、それを受任した弁護士から受任通知のFAXが土日の日付で毎週のように届いていたのです。当時、最も辛かったのは、先行き見通せない取引先企業が、今で言う反社会的勢力に入り込んできて、連日のように担保の解除、債権の放棄を迫られ、半年間脅迫まがいに対する対応をしておりました。解決するまでのこの期間は生きた心地がせず、家に帰るまでのルートを毎日変えて、何度も振り返りながら家に帰ったのを覚えております。

その後、平塚の支店を経験し、36歳の時に辻堂支店の支店長を拝命致しました。初支店長の辞令を受ける時に、当時の頭取から『少し早い気がするけど、顔が老けているから大丈夫だろう』と言われ、喜んで良いのか、けなされているのか、複雑な心境だったことを覚えております。新任だった入行当時、支店長という存在は貫禄のある頼もしい存在に見えていましたが、いざ自分自身はその席に座り、若い銀行員から自分が見ていた支店長と同じように映っているのか、最初のうちはそんなことを気にして仕事をしていたように思います。転動した2店舗目も藤沢支店、茅ヶ崎支店と近場の湘南地区を任せられ、気がつけば10年ほど湘南地域を渡り歩き、銀行員生活の半分近くを湘南で過ごすことになっていました。

湘南で仕事をしていると、そのブランド力に魅力があるからか、どこからどこまで『湘南』かという話によく

りました。平塚支店に勤務していた時は、お客様は『湘南は平塚から大磯までだ』と言っており、茅ヶ崎支店に勤務していた時のお客様は『葉山から茅ヶ崎が湘南』だと言っていました。そもそも『湘南』という語源は諸説あるのですが、中国の湖南省の景勝地から取られて、『相模国の南部地方』相南にひっかけているという説が有力だそうです。この考え方に従えば、相模湾一帯をまとめて『湘南』と呼んでも良さそうですが、各地で論争が絶えませんでした。そんな長年の論争に先般神奈川県がついに終止符を打ったとのこと。神奈川県が進めている『かながわシープロジェクト Feel SHONAN』の中で、『湯河原から三浦までの相模湾沿岸を(湘南)と呼びます!』と明記されました。『かながわシープロジェクト』は2020年東京オリンピック開催を控え、神奈川県の中の魅力を全世界に発信するのが目的だそうです。黒岩知事が東京オリンピック前に相模湾一帯を全部『湘南』にしてしまったわけですが、大磯には『湘南発祥の地』の碑があったり、藤沢の片瀬海岸には『ここが湘南』の碑があったり、湯河原は湘南ナンバーで、横須賀には『湘南鷹取』という地名があります。

生まれも育ちも横浜の私にはどうでもいいのにと内心思いつつ、よくこの論争の話し相手になっておりました。藤沢の支店長時代に『神奈川銀行も湘南地域の支店全体で何かに取り組みが出来ないか』と考え、頭取に直談判して、『かなぎん湘南地区交流会』というものを立ち上げました。毎年神奈川銀行の湘南地区の支店で取引頂いている企業様にお集まり頂いて、ビジネスマッチングを主体とした異業種交流会を実施しており、実際に毎年複数の企業の引き合わせを行い、その後お取引頂いております。

このような10年間の湘南生活を経験し、今年4月に上大岡支店に転勤して参りました。今地域金融機関を取り巻く環境が厳しく、且つ目まぐるしく変化しております。日銀のマイナス金利政策が長引き、銀行の収益が圧迫されたままにも拘らず、フィンテックやキャッシュレス化に対応するため、銀行は多額のシステム投資を強いられています。ある雑誌で『地方銀行の生存年数ランキング』や、最近では『銀行員はどう生きるか』『銀行員大失業時代』なんていうタイトルの本が出版されており、就職活動の学生からも銀行人気がなくなってきております。そんな環境下ではありますが、この地元神奈川という基盤は恵まれており、金融機関激戦区ではありますが、地域金融機関が必要とされている地域だと実感しております。私たち神奈川銀行が目指しているものは、大企業との取引や大口融資ではありません。各支店の

ある地元の中小企業、零細企業の取引先数を更に増やし、その取引先の企業価値(バリュー)と呼びますが、そのバリュー向上の為に、どんなことが出来るか、銀行と取引先が一緒になって考えていきましょう、という取り組みに力を入れております。先月2週間ほど金融庁検査が入っておりました。ロータリーの最終例会を欠席したのはその為でしたが、先ほど申し上げた企業価値を高める取り組みについては、具体的に実践されているのは素晴らしいことですねと高い評価を頂きました。

最後に趣味と家族についてお話しさせていただきます。趣味は先ほど申し上げた通りゴルフです。よく野球をやっていた人は上手いと言われるのですが、それは違うと思います。130キロ位で動いているボールを打つよりも、止まっているボールを打つ方がはるかに難しいのです。先日もゴルフ場でベテランのキャディーさんに、『どの辺を狙って打ったらいい』と聞いたら、『どの辺りになら打てますか』と言われてしまいました。その程度のレベルです。そして、趣味とは違いますが、地元氏神の神輿保存会に入っております。30代前半までは年間10から15ヶ所くらいのお祭りに担ぎ手として参加しておりましたが、支店長になってからは、『背中に絵の描いている人たちと知り合いと思われぬように自粛なさい』と役員に釘を刺されてしまい、今は地元のお祭りだけ手伝っております。

家族は妻と子供1人とトイプードルが一匹です。妻とは神奈川銀行末吉支店時代に知り合いました。私が新人で配属された時の先輩でした。彼女は高卒でしたので先輩といっても私より年は1つ下でした。私は学生時代野球漬けで常に周りは男ばかり、中学・高校も男子校で毎日近距離に女性がいる生活に慣れておらず、緊張したままいつの間にか結婚しておりました。妻は出産と同時に銀行を退社し、今はJR横浜線鴨居駅の裏にある『ららぽーと横浜』の中のユニクロで準社員として働いております。子供は女の子が1人で小学校6年生です。幼稚園からチアダンスを続け、大会などにも出ているのですが、昨年中学受験とチアダンスどっちを取るのかと聞いてみたところ、両方やるとは言ってくれず、きっぱり受験は断念致しました。私の父と母2人とも数年前に他界しましたが、私には妹が1人おります。妹は中学時代にバレーボールを始め、春の高校バレーに出場し、プロリーグ化したVリーグNECレッドロケッツに入団しました。怪我でレギュラーにはなれなかったようですが、引退してから実家に帰ってくると、オリンピックに出ていた選手が家に遊びに来ていてびっくりしたのを覚えています。

以上が私の経歴と自己紹介になります。上大岡支店

に来て、また港南ロータリーに入会させて頂いて3ヶ月が経ったところではありますが、これからいろいろなことを学ばせて頂きたいと思っておりますのでよろしく願い致します。本日は有難うございました。

◎ ニコニコボックス 上杉順一親睦委員  
宮下賢会長

次週はガバナー公式訪問です。

飯島会員のイニシエーションスピーチを楽しみにしております。

大井和子幹事

園ではプール遊びが始まりました。子供は歓声を上げていますが、大人は汗だくです。出かける前に税務署から電話があり、月末に税務調査が来るとのこと。源泉税しか見るものはないのですが、手ぶらでは帰らないですね。

飯島会員のイニシエーションスピーチを楽しみにしています。

尾形達也会員

飯島会員のイニシエーションスピーチを楽しみにしています。

前回配偶者誕生日祝を頂きまして有難うございました。

飯島直人会員

本日イニシエーションスピーチをさせて頂きます。お聞き苦しい点もあろうかと思いますが、宜しくお願い致します。

細井順子会員

毎日暑いですね。ウナギが不足しているようで高騰していて手が出ません。

飯島会員のイニシエーションスピーチを楽しみにしています。

海野俊彦会員

酷暑です。水分・塩分の摂取が大事です。いつも小さい水筒で補給しています。

飯島会員のイニシエーションスピーチを楽しみにしています。

福嶋昭会員

先週は学校のクラス会の為欠席しました。出席者は元気でした。男8名女7名、合計15名。

山野井正郎・笠原孝雄・豊場建伍・平山滋也  
佐々部宣宏・橋浦重己・高森政雄・坂巻照代  
小後摩重正・民谷佳子・市川敏明各会員

飯島会員のイニシエーションスピーチを楽しみにしています。

◎次週の予定

7月25日(水) ガバナー公式訪問

◎会報

坂巻照代会報委員